

業務実績報告書

提出日 2020年2月26日

1. 職名・氏名 所長・特任教授 南保 勝

2. 学位 学位 博士(経済学)、専門分野 地域経済学、地場産業論、地域研究、
授与機関 福井県立大学、授与年月 2009年

3. 教育活動

<p>(1)講義・演習・実験・実習</p> <p>① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 (2017年、2018年、2019年) 経済学 (2単位 毎年開講) 1、2年(教養)</p> <p>② 内容・ねらい 本講義は、“学”という言葉にこだわらず、若者や超ビギナーのために開講する現代経済入門講座。日本経済を取り巻く環境や諸問題などを理解するとともに、経済活動を把握するための各種統計・経済データを読み取る力を養うことで、社会人として必要な生きた経済学の基礎知識を身につけることをねらいとしている。</p> <p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 毎回、講義の疑問点、感想などをカードに記述させ、次の時間にそれら質問事項 (30分程度) について回答した。そのため、学生も問題、課題を明確にできたと考える。</p>
<p>① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 (2017年、2018年、2019年) 福井を学ぶ (2単位 各年開講) 1、2年</p> <p>② 内容・ねらい 福井県経済の歴史的発展、産業構造、地域風土、暮らし等について、その特徴を解説。福井を知ってもらい、福井にプライドを持ってもらうための講義。</p> <p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 今ある福井の代表的な産業がどのようにして根付いたかなど、経済理論ではなく歴史的、文化的側面からアプローチしている。</p>
<p>① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 (2017年、2018年、2019年) 地域特講 F 福井地域学 (2単位 各年開講) 大学院 1、2年、アオッサ開講科目</p> <p>② 内容・ねらい 1. 福井県の姿を近世、明治期、そして現代の地域特性から把握する。 ⇒福井県はどのように成立し、近世、明治期の福井県にはどのような産業が栄えたか、そして現在、福井県の経済、それを支える産業・企業・地域人のすごさとは。 2. その上で、今後求められる地域のあるべき姿、地方創生を考える。 ⇒歴史・現状での地域特性から得られた福井県の強みをどう生かすべきか…。</p> <p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 プロジェクターを最大限活用し、教科書として使用した「福井地域学」(晃洋書房)の内容をよりわかりやすく解説した。</p>
<p>① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 (2017年、2019年) 地域経済特論 (2単位 各年開講) 大学院 1、2年</p> <p>② 内容・ねらい 福井地域に限定して、地域における近世・明治期の産業の変遷、現在の地域経済の概況、繊維、眼鏡等の主要産業の動向、域内企業動向等を中心に講義。</p> <p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 2016年度は、「福井地域学」(晃洋書房)をテキストにして、地域の概況、課題、それに関する方向、方策等につきディスカッションを交えて行った。特に、地方創生を意識し、「今、地域は何をなすべきか」を中心テーマとして講義を実践した。</p>

(2)非常勤講師担当科目

① 担当科目名 (単位数) 開講学校名 福井大学大学院工学研究科副専攻
(2017年、2018年、2019年)

経営学概論 (2単位 毎年開講)

② 内容・ねらい

企業経営において必要な経営学の基礎理論の理解とともに、事例研究を通じて、現在、全国で快進撃を続ける企業の共通した経営法則を学ぶことで、社会人として必要な生きた経営学の基礎知識を身につける。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

工学系の学生だけに、授業終了後の確認テスト、次の授業での前回復習などを繰り返し、前に進めている。

④ 本学における業務との関連性

本講義が、本学地域経済研究所の教員として、地域企業の動向を研究する機会に繋がっている。また、将来的には福井大学共同研究センターとの連携にも繋げていきたい。

① 担当科目名 (単位数) 開講学校名 仁愛短期大学 (2016年、2017年、2018年)

生活商品学 (4単位 毎年開講) 1、2年

② 内容・ねらい

消費者行動論やマーケティング戦略論をベースに、それを生活者の立場から評価し「賢い消費者」になるための基礎となる力を養成する。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

何を考えて商品を購入し、いつ、いかなる商品を購入し、どこから購入するか。商品を選択し、購入するという行為は、生活者にとって重要なことである。したがって、できるだけ生活者の立場にたった教育を心がけた。

④ 本学における業務との関連性

地域経済研究所の教員として、自分自身が今もとめられる商品概念のあり方を研究する機会につながった。

① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 (2017、2018年、2019年)

福井地域学、仁愛女子短期大学 2年

1. 福井県の姿を近世、明治期、そして現代の地域特性から把握する。

⇒福井県はどのように成立し、近世、明治期の福井県にはどのような産業が栄えたか、そして現在、福井県の経済、それを支える産業・企業・地域人のすごさとは。

2. その上で、今後求められる地域のあるべき姿、地方創生を考える。

⇒歴史・現状での地域特性から得られた福井県の強みをどう生かすべきか…。

② 内容・ねらい

本講義は、素晴らしい歴史、伝統、文化、産業・企業、県民性…を保有する福井県の姿を受講者に理解してもらい、ちょっとだけでも福井を好きになってくれる、興味を持ってくれる受講者が一人でも多く増えてくれることを期待し、開講するものである。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

2016年度は、初めての講義であるため、プロジェクターを最大限活用し、教科書として使用した「福井地域学」(晃洋書房)の内容をよりわかりやすく解説した。

④ 本学との業務の関連

地域の誇り・プライドの醸成を図り、若者の県外流出を防ぐための手段として役立つことを目的に実施している。(地域貢献事業)

(3)その他の教育活動

・各地の公民館等での社会教育活動を実践。2017年、2018年、2019年

・福井県立福井商業高校での講義「地域の経済と産業」2017年、2018年、2019年

・福井県立高志中学校での講義、「地域の経済と産業」2017年、2018年、2019年

- ・福井県高等学校教育研究会商業化研究発表会での助言 2018年12月
- ・「Characteristics of Regional Industries and the Direction of Industrial Policy in Japan - Based on the Fukui Region as a Model -」 交易財団法人太平洋人材センター主催の海外研修生対象とした講義 2017年、2018年、2019年
- ・大東中学校「地域の今昔・そして未来」2019年5月

4. 研究業績

(1) 研究業績の公表

① 論文

研究論文

- ・「福井県経済、2016年の回顧と今後（2017年）の展望」（単著『Fukugin JOURNAL 新春号』福井銀行、（2017年1月）
- ・「福井県における伝統工芸品産業振興のための一考察」（単著『ふくい地域経済研究第25号』福井県立大学地域経済研究所、2017年9月
- ・「福井県経済、2017年の回顧と今後（2018年）の展望」（単著『Fukugin JOURNAL 新春号』福井銀行、2018年1月
- ・「福井県経済、2018年の回顧と今後（2018年）の展望」（単著『Fukugin JOURNAL 新春号』福井銀行、2019年1月
- ・「地域中小企業の新展開 ―福井モデルから、地域中小企業の未来像を考える― 」（『商工金融』一般社団法人商工総合研究所、2019.11月
- ・「福井県経済、2019年の回顧と今後（2020年）の展望」（単著『Fukugin JOURNAL 新春号』福井銀行、2020年1月

② 著書

- ・「地域経営分析」（単著 晃洋書房、2019年3月）

③ 学会報告等

- ・第19回北陸（日本）韓国経済交流会議「日韓 新ステージにおける地域間連携」でモデレーターを務める 2018年8月

④ その他の公表実績

- ・帝国データバンク「帝国ニュース」への投稿（2017年、2018年、2019年の隔月）
テーマ：「福井の繊維産業と福井人絹取引所」「越前漆器産地、河和田を訪ねて」「北陸のシェアトップ企業から、その秘密を考える」、「緩やかながら景気の持ち直しが期待される日本経済」「長崎県“出島”に学ぶ地域づくり」「長寿企業が比較的多い福井地域」「景気回復の中での企業経営を考える」「競争激化する北陸の商業界で、今後の戦略を探る」「地域経営をめぐる新たな視点」「北陸地域の経済環境と今後の課題」など
- ・福井県商工会連合会「福井県中小企業短期経済観測調査」分析（2017年、2018年、2019年の各年4回、景況調査に対しコメントを付す）
- ・社団法人ふくい・くらしの研究所が主催する「消費動向調査」への参画（2017年、2018年、2019年の各年2回）。同時に、同研究所の記者発表にも同行。
- ・電機新聞社への投稿（2017年、2018年、2019年の各年3回）
「北前船主の館、右近家を訪ねて」「継体天皇と越国」「県都阿久井氏、西口再開発に期待する」「豊富な水資源と古い歴史が息づくまち、若狭町」「勝山左義長まつり」「越前漆器」「官公と農業の街坂井市を訪ねて」「越前勝山市を訪ねて」など
- ・「社会経済統計データ 2017年 都道府県別・福井県 17市町別」（福井県立大学学地域経済研究所）。同統計調査は、2009年より毎年実施しており、地域経済研究所のデータベースとしている、（2017年8月）
- ・独立行政法人労働政策研究・研修機構への寄稿（四半期ごとに「地域シンクタンクモニター調査」として、北陸地域の経済動向についてコメントを提出。（2017年、2018年、2019年の各年4回）

(2)学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動
学会での役職など ・地域公共政策学会理事、2013年～2018年
学会・分科会の開催運営 ・公益財団法人太平洋人材交流センター主催ケニア・パキスタン・チュニジア・ソロモン・アルゼンチンタジキスタン行政官向け研修「地域の特色を生かした産業振興」のための講義「日本企業の特徴と産業政策の方向性」を実施（2017年2月） ・公益財団法人太平洋人材交流センター主催「地域の特色を生かした産業振興」のための講義「日本経済の変遷と企業価値」を実施（2017年7月） ・第8回北陸地域政策研究フォーラム シンポジウム「福井経営モデルの探求」でコメンテーターを担当 ・公益財団法人太平洋人材交流センター主催海外行政官向け研修「地域の特色を生かした産業振興」のために「地域産業の今後の発展戦略」をテーマに講演。2018年8月 ・地域公共政策学会「ブランド信仰を考える ～永平寺町 SHOJIN ブランドから～」でコメンテーターを務める 2018年11月 ・北陸財務局、北陸経済連合会主催の「地方創生フォーラム in 福井 ～北陸新幹線の敦賀延伸を契機とした地域活性化の方向性～」でコメンテーターを務める 2020年1月
(3)研究会活動等
① その他の研究活動参加 ・地域貢献事業「福井県の各産業界における取引構造の変容と、産業構造の変化に対応する企業間・業種間ネットワーク構築に向けての調査研究」参加、2018～2018年
② その他の活動による成果 ・地域経済研究所機関誌「地域経済の外観」を執筆担当(2017年、2018年、2019年の各年2回) ・地域経済研究所地域経済グループとして「地域経済研究会」「地域経済研究フォーラム」を主催。
(4)外部資金・競争的資金獲得実績
・地域貢献事業「伝統的工芸品産業及び地場産業のブランド構築による地域経済発展のための研究—企業連携によるブランド開発事例の検証も含めて—」2017年 ・福井銀行奨学給付金によるカードケースの開発 2017年2月
(5)特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会 ・日本銀行金融広報アドバイザー、2003～ ・福井市「福井市中心市街地活性化基本計画策定委員会」委員、2006～ ・福井経済同友会企業経営委員会顧問、2007～ ・越前市「行財政構造改革推進委員会」委員、2007～ ・福井労働局「福井地方労働審議会」会長、2012～ ・日本銀行「福井県金融広報アドバイザー協議会」会長 2008～ ・福井労働局労働関係紛争担当参与 2008～ ・福井市「福井市行政評価（外部評価）委員会」委員長 2008～ ・財団法人福井県生活衛生営業指導センター「分野調整委員会」副委員長 2007～ ・丹南産業フェア 2009 実行委員会「2009 越前ブランドクラフトコンペ審査委員会」委員長 2009～ ・全国中小企業団体中央会「ものづくり中小企業製品開発等支援事業」審査委員 2009

- ・財団法人北陸産業活性化センター「農業ビジネスの北陸での展開可能性調査」委員会 2009
- ・福井県健康福祉部食品安全・衛生課「福井県生活衛生営業審議会」委員 2009～
- ・社団法人ふくいくらしの研究所 理事 2009年
- ・福井商工会議所「福井市中心市街地活性化協議会」委員 2009年～
- ・福井市マーケット戦略室「福井市地域資源・マーケット戦略会議」委員長 2009～
- ・福井労働局「福井県衣服製造業最低工賃専門部会」委員長 2010～
- ・福井県「福井県行財政改革推進懇談会」委員 2010～
- ・福井市マーケット戦略室「新連携プロジェクト事業評価委員会」委員長 2011～
- ・福井県恐竜博物館「福井県恐竜博物館運営協議会」委員 2010～
- ・福井県民生協 非常勤理事 2011.6～
- ・福井市環境推進会議 環境・エネルギー部会 部会長 2011.4～
- ・福井県「新分野展開スタートアップ支援事業審査委員会委員」 2012.4～
- ・厚生労働省 労働関係紛争参与 2011.4～
- ・福井労働局「保護司選考委員会」委員 2011.4～
- ・福井県商工会連合会専門相談員 2010.4～
- ・若狭湾エネルギー研究センター 「嶺南地域新産業創出モデル事業補助金に関わる審査委員会」委員 2012.4～
- ・福井県商工会連合会平成24年度小規模事業者地域力新事業全国展開支援事業委員会 委員長 2012.4～
- ・福井県商工会連合会「商工会認証システム制度」委員長 2012.4月～
- ・越前市「越前市行財政構造改革推進委員会」委員長 2012年4月～
- ・公益財団法人ふくい産業支援センター「ふるさと企業育成ファンド事業における新分野展開スタートアップ支援事業審査委員会」委員 2012年4月～2014年3月
- ・中小企業庁「平成24年グローバル技術連携支援事業の採択に関する書面審査」委員 2012年
- ・福井県「次世代人材育成会議」委員 2012.8～
- ・福井市「福井市中心市街地活性化基本計画原案策定ワーキング委員」委員 2012.8～
- ・福井県「福井県行財政改革推進懇談会」委員 2012年～
- ・福井県中小企業団体中央会「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金審査委員会」委員長 2012年4月～
- ・福井県「環境エネルギー推進協議会」委員 2012年4月～
- ・福井県産業労働部「サンドーム福井外部評価員会」委員長 2012年4月～
- ・公益法人ふくい産業支援センター「地域イノベーション戦略支援プログラム（研究機能・産業集積高度化地域）「ふくいスマートエネルギーデバイス開発地域」平成26年度外部評価委員会）委員 2014年4月～
- ・福井市「中心市街地活性化マネジメント会議」委員 2012年4月～
- ・坂井市「坂井市中小企業振興計画策定懇話会」委員長 2014年～
- ・越前市「越前市中小企業政策策定指針会」委員長 2014年～
- ・越前市「北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定」委員 2014年～
- ・福井市「福井市企業誘致戦略策定に係る有識者懇談会」委員 2014年～
- ・中部経済産業局「北陸産業競争力協議会 産業環境ワーキンググループ」座長 2014年
- ・国土交通省北陸地方整備局「北陸広域地方計画有識者懇談会」委員 2014年～
- ・福井市「福井市総合計画審議会産業部門」部会長 2015年～
- ・坂井市「坂井市中小企業振興懇話会」委員長 2015年～
- ・越前市「越前市産業活性化プラン改訂有識者会議」委員長 2015年7月～
- ・福井市「福井市新事業創出選定委員会」委員長 2015年9月～
- ・越前漆器協同組合「越前漆器展覧会審査会」委員長 2010年～
- ・越前市「地方創生に関する有識者会議」委員 2015年。
- ・福井県中小企業団体中央会「平成26年度ものづくり・商業・サービス業補助金に係る地域採択委員会」委員長 2015年～
- ・福井県「ふくいオープンイノベーション戦略会議」委員 2015年～
- ・福井県安全環境部「福井県消費生活審議会」会長 2015年～

- ・福井市「民間活力をいかした県都の顔づくり事業選定委員会」委員長 2015年～
- ・北陸地方整備局「北陸圏広域地方計画有識者懇談会」2015年4月～。
- ・越前市「産官学連携ネットワーク有識者会議」委員長 2016年4月～
- ・福井県「福井ふるさと企業表彰審査委員会」委員 2016年～
- ・福井県「福井駅西口地下駐車場指定管理者選定委員会」委員長 2016年7月～
- ・福井市「福井市下水道事業経営戦略策定審議会」委員長 2016年
- ・福井市企業局「福井市水道事業経営戦略策定委員会」委員長 2016年
- ・福井県「ふくいまち・エネおこしネット協議会」コーディネーター2016年
- ・福井県「消費生活審議会」委員長 2016年
- ・一般社団法人ふくいエネルギーマネジメント協会理事長 2017年4月～
- ・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構「運営企業議会」委員長
- ・FOIP検討委員会委員 2017年9月～
- ・中小企業産業大学校「カリキュラム検討委員会」委員長 2017年10月～
- ・福井県「実は福井の技」審査委員会委員 2017年12月～
- ・越前市「南越駅周辺まちづくり計画策定委員会」委員長 2019年1月～
- ・近畿経済産業局「平成31年度中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業外部評価委員会」委員長 2019年2月～

② 国・地方公共団体等の調査受託等

③ (公益性の強い) NPO・NGO 法人への参加

④ (兼業規程で業務と見なされる範囲内での) 企業等での活動

- ・福井放送局「おじゃまっテレ」毎週金曜日放送(18:00～19:00)で、コメンテーターとして出演(毎月1～2回程度)。
- ・FBCラジオで、毎年、年初に地域経済・産業に関わるテーマで30分番組に出演。
- ・業界団体、支援機関、行政機関等の要請により、年30～40回程度講演会の講師を務める。「地域経済の動向と労働環境」(連合福井)、「地域経済・産業の今後の方向性」(県民生協)、「地域のあるべき姿と公民館の役割」(福井市中央公民館)、「地方圏の時代、求められる地域の未来像」(吉田郡農友会)、「福井の経済と私達の暮らし」(福井市中央公民館)、「福井県経済の今後と地域の方向性」(福井大学産官連携本部)、「労働市場の変容と企業経営」(ハローワーク武生)、「地域経済の現状と地元企業の方向性」(福井県ニット工業組合)、「地域経済の特徴と求められる企業のイノベーション」(JAM 福井)、「最近の経済情勢と食品スーパーの今後の方向性」(協同組合ハニー)、「大野市の経済指標からみる地域活性化策」(大野市行政懇談会)、「福井地域の課題と自治会が果たすべき役割」福井県自治会連合会、「地方創生と地域経済」日本政策金融公庫、「人口減少社会における地域経済の展望」JA研修会、「歴史経路で学ぶ福井の経済と企業経営」福井県中小企業家同友会、「歴史経路で辿る地域経済と産業企業の方向性」福井県社会保険労務士会、「EU離脱と日本への影響」坂井市商工会、「人口減少社会到来の中での企業のマネジメントとは」JA幹部研修、「最近の経済情勢とこれからの企業経営」鯖江市繊維協会、「人口減少社会における地場産業の未来ーローカル産業の可能性を探るー」一般社団法人地方自治研究機構、「歴史的文化的視点から見た福井の経済」越前市生涯学習センター、「福井地域学ー地方創生に向けてー」一般社団法人福井県中小企業診断士協会等。
- ・その他、マスコミへの取材に対し随時協力(日本経済新聞、福井新聞、日刊県民等)、FBC、福井テレビ等への出演。

⑤ 学会あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等

- ・ふくいオープンイノベーション推進機構の検討委員

⑥ その他

- ・厚生労働省より「厚生労働大臣賞」を受賞(2017年1月)

(2)大学が主体となっている地域貢献活動等

① 公開講座・オープンカレッジの開講

- ・本学31年度前期公開講座「福井の歴史・文化・経済の拝啓を探る～地域の持続的発展に向けた経営分析」2019年7月

<ul style="list-style-type: none"> ・「福井の産業・企業」(「福井を学ぶ」)(2017年7月) ・「福井の産業・企業」(「福井を学ぶ」)(2018年7月) ・「福井の産業・企業」(「福井を学ぶ」)(2019年7月)
② 社会人・高校生向けの講座 ・日本銀行金融広報委員として年10回程度の講座出演、テーマ:「暮らしと経済」「これからの暮らし方」「地域経済の動向と私達の暮らし」、高志中学校などでの地域経済・産業関連講座
(3)その他(個人の資格で参加している社会活動等)

6. 大学の管理・運営

(1)役職(副学長、部局長、学科長)
(職名、期間) 地域経済研究所長(H29.4～)
(2)委員会・チーム活動
(名称、期間) ・「ふくい地域経済研究編集委員会」委員、2006年～ ・COC+ブランド推進委員、2015年～
(3)学内行事への参加
(行事名、参加日時)
(4)その他、自発的活動など
(活動名、活動内容、活動期間)